

平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月14日

上場会社名 株式会社ハブ

上場取引所 東

コード番号 3030 URL <http://www.pub-hub.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高見 幸夫

TEL 03-3526-8682

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	6,289	11.4	544	5.6	548	7.2	329	13.0
25年2月期第3四半期	5,644	12.2	515	7.8	511	6.7	291	22.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	263.71	263.54
25年2月期第3四半期	234.28	233.73

(注)当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割するとともに1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	4,327		2,380			55.0
25年2月期	3,927		2,144			54.6

(参考)自己資本 26年2月期第3四半期 2,380百万円 25年2月期 2,144百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	7,900.00	7,900.00
26年2月期	—	0.00	—		
26年2月期(予想)				81.00	81.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割するとともに1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、平成26年2月期の配当予想につきましては、株式分割後の額を記載しております。

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,420	11.0	685	3.5	675	2.4	380	6.4	303.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割するとともに1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、平成26年2月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期3Q	1,251,700 株	25年2月期	1,247,200 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年2月期3Q	— 株	25年2月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期3Q	1,250,600 株	25年2月期3Q	1,246,100 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割するとともに1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、発行済株式数(普通株式)は、前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割するとともに1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、積極的な経済・金融政策により株価上昇や円安が進行する中、輸出環境が改善し消費支出が若干の持ち直しを見せるなど緩やかな景気回復が続きました。

外食産業におきましては、景気回復への期待感から消費者マインドは改善傾向にあるものの、物価上昇等への懸念から生活防衛意識は依然として高く、取り巻く環境は引き続き厳しいものとなっております。

このような状況のもと、当社は当事業年度の事業方針を「追求と挑戦」とし、「なぜ」「なぜ」を繰り返す思考によりあらゆる事象に対してその本質を捉え、真因を追求していくことでノウハウを構築し、さらに高いハードルに挑戦する強い集団となることをめざした取り組みを実施しております。

また、当社が従来重点的に取り組んでおります人財育成について、5店舗1エリアマネジャー体制・ハブ大学による既存の店舗従業員教育に加え、当事業年度より部・課長の教育をさらに強化しレベルアップを図ることで、目前に迫った100店舗体制をサポートできる本部機能の構築を着実に進めております。

さらに、店舗力向上を図ったQ・S・C・Aの磨き上げの徹底やメンバーズカード入会を促進する取り組みの強化など、当社が継続的に実施しておりますこれら施策についても引き続き注力するとともに、従業員が仮装してお客さまをお迎えするハロウィーンイベントやSNS活用によるタイムリーな施策の実施等により集客を図ってまいりました結果、既存店の対前年比につきましては、売上高101.5%、客数101.6%となりました。

また、当事業年度開始直後の3月に、「キャッシュ・オン・デリバリー」に代表される英国風PUBという業態を通じて、PUB文化とその楽しみ方を提供し日本に定着させた功績が評価され、農林水産省主催の「第21回優良外食産業表彰 新規業態・人材開発部門」におきまして大臣賞を受賞いたしました。

店舗につきましては、HUB業態6店舗(相模大野店、大宮西口店、御茶ノ水店、京阪京橋店、京都ヨドバシ店、仙台名掛丁店)を出店いたしました。この東北地方1号店となる「HUB仙台名掛丁店」の出店により、英国PUB文化を日本において広く普及させるという当社の経営理念実現を一步前進させることができました。この結果、当第3四半期末現在における店舗数は直営店83店舗、のれんわけ店1店舗、計84店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,289百万円(前年同期比11.4%増)、営業利益は544百万円(前年同期比5.6%増)、経常利益は548百万円(前年同期比7.2%増)、四半期純利益は329百万円(前年同期比13.0%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて399百万円増加し、4,327百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて160百万円増加し、1,673百万円となりました。これは主に現金及び預金並びに前払費用が増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べて238百万円増加し、2,653百万円となりました。これは主に新規出店に伴う有形固定資産及び差入保証金が増加したことによるものであります。

負債は前事業年度末に比べて163百万円増加し、1,946百万円となりました。これは主に買掛金、借入金、未払費用及び賞与引当金が増加したものの、未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べて236百万円増加し、2,380百万円となりました。これは配当金の支払により98百万円減少したものの、四半期純利益329百万円を計上したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月期の通期の業績予想につきましては、平成25年4月12日発表の決算短信で開示した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別する事が困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ5,626千円増加しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,163,216	1,282,575
売掛金	23,197	30,071
原材料及び貯蔵品	55,751	56,561
その他	270,549	304,271
流動資産合計	1,512,714	1,673,479
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	1,140,554	1,313,189
その他(純額)	214,343	249,432
有形固定資産合計	1,354,897	1,562,621
無形固定資産	26,819	27,785
<b>投資その他の資産</b>		
差入保証金	915,042	943,750
その他	118,182	119,507
投資その他の資産合計	1,033,225	1,063,258
固定資産合計	2,414,942	2,653,664
<b>資産合計</b>	3,927,657	4,327,144
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	178,082	221,064
1年内返済予定の長期借入金	84,000	113,000
未払金	328,974	324,370
未払法人税等	158,500	80,500
賞与引当金	151,554	172,805
その他	259,533	300,155
流動負債合計	1,160,645	1,211,895
<b>固定負債</b>		
長期借入金	171,500	235,500
リース債務	67,649	86,282
長期未払金	258,083	278,599
資産除去債務	125,241	134,067
固定負債合計	622,475	734,450
<b>負債合計</b>	1,783,120	1,946,345

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	629,296	631,793
資本剰余金	192,896	195,393
利益剰余金	1,322,344	1,553,611
株主資本合計	2,144,536	2,380,798
純資産合計	2,144,536	2,380,798
負債純資産合計	3,927,657	4,327,144

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	5,644,098	6,289,848
売上原価	1,529,566	1,721,414
売上総利益	4,114,531	4,568,433
その他の営業収入	27,699	36,244
営業総利益	4,142,231	4,604,677
販売費及び一般管理費	3,626,742	4,060,081
営業利益	515,488	544,596
営業外収益		
受取利息	313	292
受取保険金	—	7,700
固定資産受贈益	558	—
雑収入	1,249	1,475
営業外収益合計	2,121	9,468
営業外費用		
支払利息	4,308	5,348
雑損失	1,365	—
営業外費用合計	5,673	5,348
経常利益	511,935	548,716
特別損失		
固定資産除却損	10,771	2,389
その他	951	64
特別損失合計	11,722	2,454
税引前四半期純利益	500,213	546,262
法人税、住民税及び事業税	217,771	210,211
法人税等調整額	△9,491	6,254
法人税等合計	208,280	216,465
四半期純利益	291,933	329,796



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。